

由布市旧湯布院公民館跡地整備設計業務委託  
公募型プロポーザル審査要領

1. 趣旨

由布市旧湯布院公民館跡地整備設計業務委託に係る技術提案書提出者選定及び技術提案書評価を公平かつ適正に行うため、プロポーザル審査の実施について必要な事項を定める。

2. 技術提案書提出者選定

期限までに参加表明書の提出のあった者（以下「参加表明者」という。）について、公募型プロポーザル募集要領の参加資格要件を全て満たしているかを書類で審査したのち、有資格者について1次審査の対象者とする。

3. 1次審査

1次審査については、参加表明をした応募者の参加資格要件を審査し、要件を満たす応募者に対し技術提案書の提出を文書で要請する。1次審査は由布市旧湯布院公民館跡地整備設計業務プロポーザル選定委員会（以下選定委員会という）での審査を行う。審査事項及び評価配点は次の通りとする。

審査	審査項目		配点
書類審査	チームの実力	管理技術者の経歴、業務実績及び受賞実績	15
		意匠主任技術者の経歴、業務実績及び受賞実績	10
		その他主任技術者の経歴及び業務実績	5
選定委員会 審査	技術提案書	基本構想の趣旨を的確に捉えた提案を期待できるか	50
計			80

(1) 書類審査は「由布市旧湯布院公民館跡地整備設計業務委託技術提案書提出者選定及び技術提案書評価要領」に基づき採点を行う。なお、審査結果は選定委員会の承認を経て確定するものとする。

(2) 選定委員会は、得点の高いものから5者を2次審査対象者として選定する。

なお、5位、6位が同点となった場合など、選定が困難な場合は、選定委員会の審議により決定する。

3. 2次審査

(1) 公開プレゼンテーション及びヒアリングの実施

① 2次審査対象者ごとに、選定委員会でプレゼンテーション及びヒアリングを実施

する。

- ② プレゼンテーション及びヒアリングの順番は、2次審査対象者の抽選により決定し、事業者が特定される事項については伏せて実施するものとする。
- ③ プレゼンテーション及びヒアリングは公開により実施する。

(2) 審査事項及び評価内容

	項目	詳細	判断基準	配点／ 評価 ウエイト
① 業務 実施 方針	①実施体制・ スケジュール	・担当チームの特徴・ 強み ・本業務において、妥 当かつ現実的な業務 実施スケジュールお よびマネジメント方 針の提案。	実施手順の明確性 (説得力があるか)	25
			工程計画等の妥当 性	
			提案の的確性	
			提案の独創性	
			成果達成の期待度	
	②市民との協 働に関する考 え方	・地域住民との協働に よって基本・実施設計 を進めていく手法等 の提案。 ・設計プロセスや、竣 工後の管理運営にお いて、市民が愛着をも てるような関わり方 や手法等の提案。	提案の的確性	
			提案の独創性	
			成果達成の期待度	
	③デザインコ ンセプトの設 定の考え方	・基本構想や、湯布院 地域のこれまでのま ちづくりの経緯、事業 の目的、跡地整備にお けるコンセプト、整備 方針、敷地条件等を十 分に理解したうえで のデザインコンセプ トの提案。	業務内容・意図の 理解	
			提案の的確性	
			提案の独創性	
			成果達成の期待度	

② 業務の着眼点及び考え方	①安全性の確保についての考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想を踏まえ、当該施設や周辺施設を利用する多様な年齢層の利用者を想定した上で、各施設や周辺道路等と関りの中での利用者の安全の確保についての手法の提案。</li> </ul>	提案の的確性	20
			提案の独創性	
			成果達成の期待度	
	②施設整備についての考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想を踏まえ、各施設の配置の工夫や、跡地周辺との景観や風景との調和についての提案。</li> <li>・湯布院地域のまちづくりの基本理念である『緑』『空間』『静けさ』をどのように整備に盛り込むか。</li> </ul>	提案の的確性	20
			提案の独創性	
			成果達成の期待度	
	③維持管理運営への配慮・コストマネジメントについての考え方、その他独自提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イニシャルコスト、ランニングコストに対する考え方の提案。</li> <li>・緑地等の維持管理における市民参加の方策</li> <li>・その他、評価項目で示されている以外で、独自に提案したい内容の提案</li> </ul>	提案の的確性	20
			提案の独創性	
			成果達成の期待度	
	③ コミュニケーション能力	質問に対する応答が明快かつ迅速で分かりやすい	意思伝達力	15
			論理的表現力	
			好感表現力	
対人調和力				
				100

提出された技術資料、ヒアリングの内容をふまえ、選定委員の主観的評価によって総合的に判断を行う。評価点は各委員の評価点を合計して算出する。

2次審査の得点（100点満点）を参考に審議を行い、最優秀者1者、優秀者1者を選定する。

#### 4. その他

この要領に定めるもののほか、プロポーザル審査に必要な事項は、委員長が選定委員会に諮って定める。